

会報「石川守る会」

石川県重症心身障害児(者)を守る会
全国重症心身障害児(者)を守る会
石川県支部 会長 山 本 衛

連日厳しい暑さが続いており、熱中症にかかる人なども例年になく多いようですが、会員のみなさま、お子さま方はお変わりなくお過ごしでしょうか。早く秋になってさわやかな日がくることを待ちわびているこの頃です。

さて、本年度の総会も多くの会員の方のご協力で無事に終えることができ、秋の活動の準備に取りかかっているところです。

平成16年度

石川守る会 総会 開催される！



去る6月27日医王病院の会議室にて本年度の総会が開催されました。

当日は正会員33名、賛助会員3名の参加と提出された委任状20枚で規約にもとづき総会は成立しました。山本会長の挨拶の後、越坂事務局長より平成15年度の活動状況が報告されました。昨年度は岐阜市で開催されて「全国守る会」の全国大会に石川より初めて10名の参加者を送ることができました。参加された方も全国各地での会員の方々の頑張っている姿に触れ、思いを新たにされたことと思います。

また、恒例になった秋の感覚的体験プログラムにも入所・在宅の双方から大勢の方の参加を頂き楽しい1日を過ごすことができました。

11月に富山で開催された東海・北陸ブロックの研修会にも会員から7名、病院の職員の方も参加されて身近な問題について研修することができました。

5年目に入ったレスパイト事業「ハートポッポ」はボランティアグループの中にも位置付いてきて昨秋金沢で開催された全国ボランティアフェスティバルの分科会でも活動紹介をしました。

会計報告では適正な運用がなされているという監査報告とともに、「ふれあいの家」建設基金にも多額の振込みがあったことが報告されました。

引き続き平成16年度の活動方針が提案されました。

今年は「全国守る会」創立40周年になるということで全国大会は東京で天皇皇后両陛下をお招きして記念大会が開催されました。石川からは山本会長、越坂副会長が参加されました。

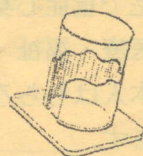
ここ数年本部からの補助を受けて開催してきた感覚的体験プログラムが補助事業からはずれたのですが、会員の方の希望も多いので今年は支部独自の事業として計画するということになりました。昨年同様に11月に医王養護学校をお借りして開催したいと考えています。補助事業としては巡回療育相談を久しぶりに行なうことになりました。

今年は役員改選の年ではないのですが、会員部として在宅の表真奈美さんに入って頂くという提案がありみなさんの賛同がえられました。

総会の議事がすべて終了してから、医王病院の事務長さんからご発言を頂きました。事務長さんは「両親の集い」の大会資料中の国立病院機構中期計画にもとづき医王病院も少しずつ充実していきたいというお考えを話されました。たとえば「石川守る会」でも長年の願いである患者家族の宿泊施設のことや、在宅の重症児（者）を支援するための通園事業の推進やリハビリの強化などについての構想を持っておられるということでした。また、それらのことを進めるにあたっては患者さんや家族の意見も聞いて、よりよいものにしていきたいという暖かいお話も伺うことができました。「石川守る会」としても建設的な意見が出せるように今後とも研修をしていきたいと考えています。

会員のみなさんもしどしどし意見をお寄せください。みんなで知恵を出しあい子ども達の毎日を少しでも豊かなものにしていきたいものですね。

「守る会」創立40周年記念大会 ～ 今こそ原点を見直そう ～



「全国重症心身障害児（者）を守る会」は今年創立40周年を迎え去る6月12日～13日に東京で記念大会が開催されました。

40年前“最も弱いものを一人ももれなく守る”という基本理念のもとに守る会を結成された重い障害のお子さんをもつ親のみなさんには頭の下がる思いです。会の結成以来、重症児（者）のための要求をまとめられ国に働き掛けられ次々と実現され、現在にいたっています。しかし、その運動は平坦なものではなく行政の方の理解を得るために様々な訴えをされたようです。それらの運動の成果として石川県でも3つの国療と2つの重症心身障害児施設での重症児（者）の受け入れや通園事業が実施されています。

在宅の人たちの生活を豊かにするための支援費制度も導入されましたが、予算が不足するほです。しかし、予算も厳しくもう見直しの検討が言われています。

厳しい社会・経済情勢のもと私たちは主張するだけでなく、会の三原則や親の憲章を再度確認し全ての人々の幸せのために力をあわせていくことが求められています。

この記念大会には石川から会長・副会長が参加されました。大会の様子なども折に触れて聞けるといいと思います。

「福祉のつどい 2004 金沢」

9月19日（日）に松ヶ枝福祉館で開催される「福祉のつどい2004金沢」に石川守る会としても参加することになりました。守る会の活動をパネル展示などで紹介します。当日は60近い団体が展示や飲食コーナーや体験コーナーやフリーマーケットなど様々な催しが出されます。また同時にふれあいコンサートも開催され様々な団体の出し物が予定されています。守る会は初めての参加ということもあり、今年は展示だけにしました。また、当日はハートポップの日でもありますので、子ども達も参加し楽しみたいと思っています。会員のみなさんも参加してみませんか。色々な団体が色々な活動をしていることがわかりますよ。

日・時 9月19日（日） 10:00～15:00 小雨決行

会 場 金沢市松ヶ枝福祉館 松ヶ枝緑地公園



巡回療育相談を受けてみませんか！

今年どの補助事業として久しぶりに巡回療育相談を実施することにしました。

在宅で重症心身障害児（者）の療育をされている方の悩みや相談に応じたいと思っています。医療・福祉・教育などの専門家を本部からも現地からお招きして相談にあたる予定です。本人はもちろん家族の方の生活が少しでも快適になるようにいっしょに考えたいと思っています。

期日はまだはっきりしていませんが10月中を予定しています。

相談を希望される方、または対象の方をご存じの方は越坂事務局長（TEL 076-289-2990）までご連絡ください。

お知らせ

・東海北陸ブロック研修会 静岡県浜松市

11月13日（土）13:00～14日（日）12:00

・感覚的体験プログラム 医王養護学校（予定）

11月21日（日）10:00～15:00（予定）

会員の現況

新入会員

正会員 皆川さん

正会員 67名

賛助会員 22名

全国重症心身障害児者を守る会

創立40周年を祝う

天皇后両陛下をお招きして

全国重症心身障害児(者)を守る会(北浦雅子会長)の創立四十周年を記念する式典が十三日、天皇后両陛下ご臨席のもと、都内で開かれた。

同会は、重症心身障害児者に対する福祉施策が全くなかった中で一九六四年に親たちが結成した。「最も弱い者を一人ももれなく守る」を合い言葉に療育相談事業を展開している。「福祉を訴え、医療を求め、教育を願い、我が子の幸せを願う素朴な親の活動」が会の趣旨だ。北浦会長は「一生懸命生きている重症児たちのかすかなサインは、こちらの心が素直で優しくな

いと受け取れない」と語る。こうした活動について天皇后陛下は「会発足当時、我が国は経済面では豊かになりつつありましたが、福祉面に対する関心はまだ低く、親たちの苦勞は今日からは計り知れないものがあったと思います。互いに手を携えて子どもたちの命を大切に育んできた努力に敬意を表します」とお言葉を述べられた。

北浦会長(左端)にお言葉をかけられる天皇后両陛下



る道につい

て様々な可能性を引き出していくことを期待しており、ます」ともされ、北浦会長や重症児、その親たちにもお声をかけられた。

なお、式典には坂口力・厚生労働大臣、小野晋也・文部科学副大臣らが出席し祝辞を述べた。参加者らは「養護学校における医療的ケアの問題、通所・在宅施策の充実など、残された課題の解決のためにも運動を進めたい」などと今後のさらなる活動を誓った。

